

平成22年度 第2回 「真女高 一日大学」

今年度第2回目の「真女高 一日大学」が11月11日（木）に実施されました。県外9大学と県内1大学あわせて14名の先生方をお招きして、1，2年生を対象に模擬授業を行っていただきました。

事後アンケート結果（合計数値）

①大変分かりやすかった・分かりやすかった	94.8%
②大変興味もてた・興味もてた	89.8%
③進路選択に大変参考になった・参考になった	86.3%

感想・意見（抜粋）

- ・サプリメントのメリット・デメリットについて分かった。カテキンの作用について知ることが出来た。（栄養化学）
- ・写真やVTRを使って子どもの居場所作りについて説明してくれたのでとても分かりやすかった。（社会）
- ・今と昔の男女のあり方、これからのあり方などを学ぶことができた。（社会学）
- ・比較することから多くのことを知ることができた。世界のことを知るためには日本のことも知る必要があると知った。（国際文化）
- ・私たちが普段使っている当たり前の言葉を深く追求していくと、様々な疑問があると思って興味がわいた。（言語学・心理学）
- ・今まで遠くに感じていた宇宙が少し身近に感じられた。（天文学）
- ・研究室での偶然の発見からいろいろな発見ができるぐらい、大学は自由に沢山の研究ができることがわかった。（ソフトウェア科学）
- ・将来英語を使う仕事に就きたいと思った。（言語学）
- ・とても分かりやすかった。医療のことがよく分かった。やはり医療の道に進みたいと思った。（脳科学）
- ・お金と人の心理を比べるのが面白かった。経済と心理学のつながりが深いことが分かった。（心理学）
- ・福祉の仕事に必要なことがわかり進路選択の良い経験になった。（福祉）

今回の「一日大学」では、各大学の先生方に講義の冒頭で各大学の全般的なことについてお話をして頂くことをお願いしてありました。これが生徒たちにはとても参考になったようです。

- ・大学のお話を聞いて進路選択に関して為になった。
- ・大学選びの参考になった。
- ・大学で学ぶことは高校の発展と分かり、今まで以上に真剣に取り組もうと思った。
- ・4年制大学の大変さ、楽しさが分かった。進路選択の参考となる情報が得られた。
- ・大学の説明も聞くことができてよかった。



平成22年第2回「真女高一日大学」講義内容・大学・講師

	分野	テーマ	大学・講師
1	表現文化	「演劇について」	新潟大学 人文学部 齋藤陽一 先生
2	地歴公民	「人物学習の面白さ」	新潟大学 教育学部 児玉 康弘 先生
3	国際文化	「世界を学ぶ、世界から学ぶ ～国際学への招待」	宇都宮大学 国際学部 高際 澄雄 先生
4	社会	「子どもの居場所づくり」	宇都宮大学 教育学部 陣内 雄次 先生
5	情報科学	「インターネットはなぜこんなに普及したか」	山形大学 工学部 古閑 敏夫 先生
6	言語学心理学	「ことばを学ぶ」	茨城大学 人文学部 郷路 拓也 先生
7	天文学	「宇宙の広がり」	茨城大学 理学部 百瀬 宗武 先生
8	栄養化学	「食品の健康機能性」	岩手大学 農学部（応用生物化学課程） 伊藤 芳明 先生
9	心理学	「心を実験しよう：お金」	群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部 甲村 美帆 先生
10	ソフトマテリアル科学	「発がん物質・環境ホルモンを除去・検出するDNA液晶ゲルの開発と展開」	群馬大学（大学院工学研究科応用化学・生物化学専攻） 山本 隆夫 先生
11	脳科学	「脳の構造と機能」	群馬大学 医学部保健学科 高山 清茂 先生
12	社会学	「比較地域文化論」 （男女の未来的あり方）	福島大学 行政政策学類 中山庸子 先生
13	言語学	「身体で学ぶ英語、その実践」	杏林大学 外国語学部 英語学科 高木 眞佐子 先生
14	福祉	「演習を通じ、福祉専門職者に必要な諸事項について学ぶ」	群馬医療福祉大学 社会福祉学部 土屋 昭雄 先生